



2006.Jun

看護しづおか Vol.1

藤枝市立総合病院のみなさんです！

● 新年度会長挨拶・新役員紹介

● 看護職員の確保と人材養成に係る 静岡県の施策体系



NEW看子です。
どうぞよろしく
お願いします。

発行所

社団法人 静岡県看護協会

〒422-8067 静岡市駿河区南町14番25号エスパティオ3F TEL(054)202-1750 FAX(054)202-1751

編集責任者 植葉由枝 平成18年5月20日発行

新年度会長挨拶

会長 榊葉由枝



冬の大地に育まれた草木が色とりどりの花を咲かせています。会員の皆様には新たな決意をもって、新しい年度を迎えたことだと思います。

さて、すでにご承知のようにこの度の医療・介護保険制度の改革は、少子高齢社会が進むわが国の医療や介護のあり方の将来を見越して、病院の機能分化がさらに進み、病気や寝たきりの予防と在宅での支援が強調されています。それを受け、看護の役割は益々広がっていくものと思われます。一方、管理者の皆様にはこれらの状況に対応するために、マンパワー不足が益々深刻な課題になっていることと存じます。

静岡県看護協会では、会員の皆様が社会の役割期待に応えていくために、「看護のマンパワー確保」を活動のスローガンに加え、18年度事業の取り組みが始まりました。ナースセンター事業を中心に人材確保対策を強化するとともに、地区支部との連携を強化して「まちの保健室」の開設や、「医療・看護安全相談窓口」を開設いたします。そして、訪問看護推進事業の継続とともに、教育研修体系の具現化を推進していきます。総会の折りに意見を頂きました「施設ごとの学習ニーズに応える研修の企画」につきましては、静岡県、関係各団体、会員施設、地区支部などの協力を得て公開研修の情報を提供していきますのでご活用下さい。本年度も旧に倍しまして皆様方のご支援ご協力のほどをお願い申し上げます。

最後になりましたが、17年度をもって退任されました役員の方々に心より感謝申し上げます。

新役員紹介

平成17年度2月総会において平成18・19年度役員改選がありました。

就任された3名の役員の方を御紹介します。



副会長

みなみや さちこ
南谷 佐知子

[勤務先]
県西部浜松医療センター

活性化推進2年目にあたり
18年度の重点事業が示されま
した。これらの事業の推進に
努めたいと思います。又県の
看護職員の充足率は充分とは
いえません。マンパワーの確
保に向けて、具体的な方策を
考えていきたいと思います。



助産師職能理事

あつみ ふじえ
渥美 藤江

[勤務先]
島田市立看護専門学校



看護師職能理事

いけがや ふくえ
池ヶ谷 福江

[勤務先]
浜松北病院

少子化、産科医の不足によ
る産科病棟の閉鎖・助産師の
不足と県内の周産期医療が嚴
しい状況にあります。会員の
皆様と一緒に助産師をめぐる
問題について考えていきたい
と思います。よろしくお願
いたします。

公益法人として看護協会が
さらに発展し協会内部にとど
まらず、社会へより大きく貢
献できるよう、三職能が一丸
となり活動していきたいと考
えています。

平成18年度事業

～静岡県看護協会活性化推進計画 2年目の取り組み～

【重点事項】

- ・教育研修体系の具現化
- ・「訪問看護推進事業」の強化
- ・「まちの保健室事業」の推進
- ・地区支部支援事業の推進
- ・「医療・看護安全対策推進事業」の構築
- ・マンパワー確保の推進



新たな取り組み こんな事業からスタートします

・看護学校等施設等代表者会議（平成18年5月20日開催）

平成18年度日本看護協会通常総会において、看護教育制度改革の方針について提案されました。大きく変わる医療状況の下で、看護師の基礎教育制度の充実が喫緊の課題となっており、将来ビジョンに向けて審議されました。この総会に先立って、看護教育に携わる代表者が一同に会して「看護基礎教育の充実」などについて話し合いました。

・施設等代表者会議（平成18年5月30日・9月29日開催予定）

静岡県看護協会が各施設との連携を図るため、毎年2回開催している会議です。

今年度は「看護のマンパワーの確保」をメインテーマとして、取り組むべき方策などについて、意見交換を行います。

・地区支部長会議（平成18年6月9日～10日・8月24日開催予定）

広域市町村合併と、それに伴う二次保健医療圏域がほぼ落ち着きました。

旧保健所管轄区域単位に置かれている地区支部の再編の検討、併せて、地区支部拠点整備や地区支部規則の見直しを検討し、会員や県民にとって一番身近な地区支部活動の充実を進めます。

これらの議論を徹底的に行うために、1泊2日の合宿を計画しました。

・准看護師進学支援（看護師職能委員会の活動として）

准看護師が通信制2年課程に進学するための、受験対策講習会や、仕事と勉学の両立支援の相談を開設します。

・教育研修

継続教育体系の充実に向けて、新規研修を加えました。

「リフレッシュ研修」を2泊3日に拡大充実。新規研修として「ストレスケア」

「継続教育」「医療を必要としている子供と親への対応を考える」「看護論」を開催します。

また、看護師の業務である来出で会議書、JCCJ会議書の策定



看護職員の確保と人材養成に係る静岡県の施策体系

(資料提供：健康福祉部人材養成室)

平成17年12月、新たな（第6次）静岡県看護職員需給見通しを策定しました。

これによると、平成22年における需要数は35,980人、供給数は35,932人（いずれも常勤換算）で、充足率は99.9%、不足数は48人ですが、これは一定の政策努力が結実した場合の供給数を目標として見込んだものであり、現実的には今後も1,000人以上の不足が続くものと考えられます。

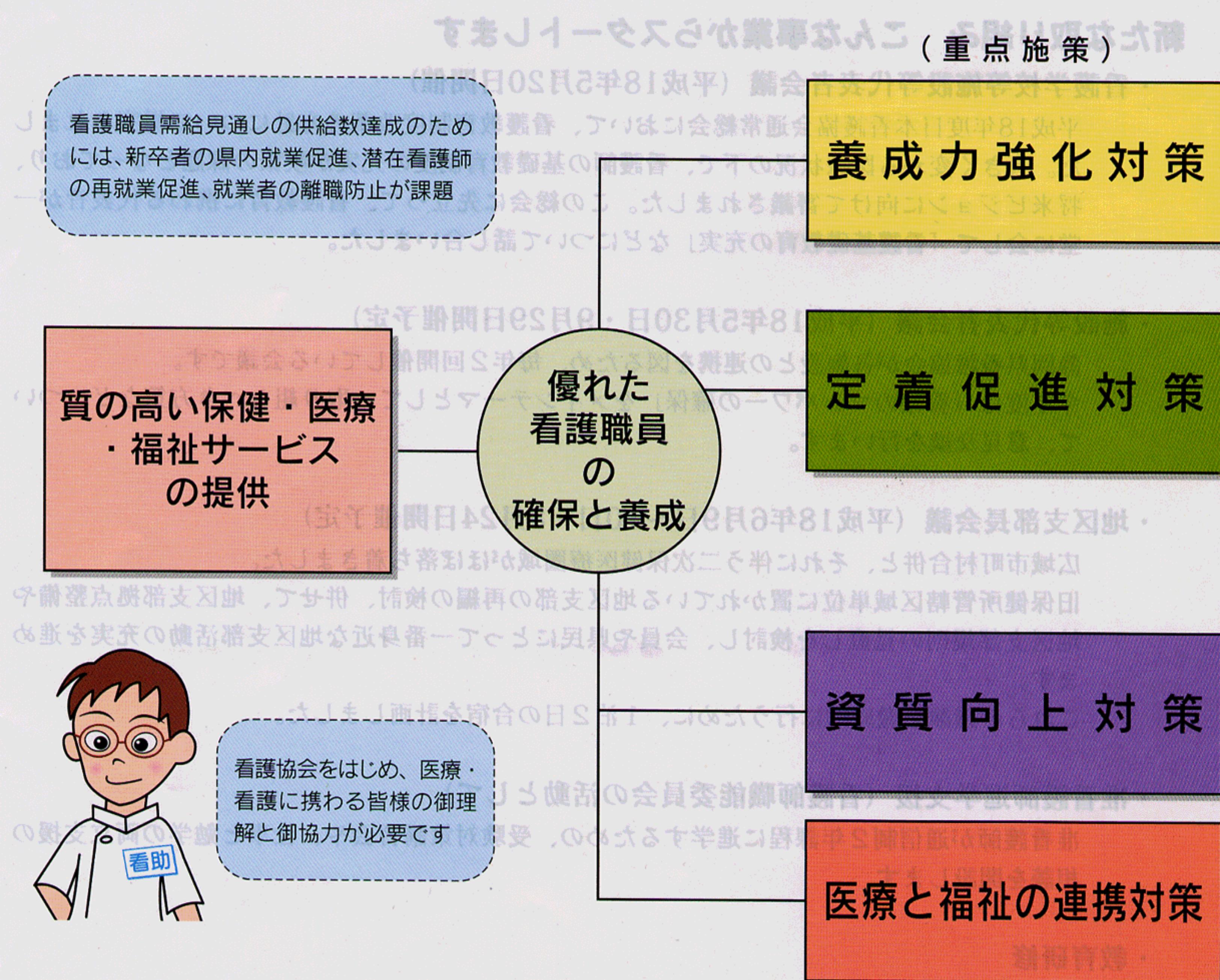
特に、全体の約6割の看護職員が勤務する病院における不足が懸念されています。

看護需要は、各施設におけるスタッフの充実や勤務条件の改善、新たな施設の開設に伴う増員のほか、高齢化による在宅医療の拡充、介護保険施設の利用増などにより、今後も全体的に増大が見込まれます。

一方、供給については、少子化により十分な看護学生の確保ができず、新卒者の大幅な増員は困難な状況になっています。

このため、必要な看護職員確保を図るために、新卒者の県内就業率を今以上に向上させるなど看護学生の養成を強化するほか、県内に1万人以上と推計される未就業の看護師いわゆる「潜在看護師」の再就業の促進や就業者の離職防止に努めるなど、関係機関の皆様の協力を得て、政策的に取り組んでいきたいと考えております。ぜひ、皆様の御理解、御協力をよろしくお願ひいたします。

静岡県健康福祉部人材養成室



“看護のマンパワー確保”を、緊急かつ重要課題として認識し、国や県の施策に敏感に対応しつつ、看護協会として出来る事業に取り組みます。

第6次静岡県看護職員需給見通し

	H17.6	H18	H19	H20	H21	H22
需 要 数	32,068人	33,459人	34,486人	35,189人	35,565人	35,980人
供 給 数	31,458人	32,211人	33,026人	33,960人	34,950人	35,932人
充 足 数	▲610人	▲1,248人	▲1,460人	▲1,229人	▲615人	▲48人
充 足 率	98.1%	96.3%	95.8%	96.5%	98.3%	99.9%

参考データ

- 卒業定員に対する新卒者県内就業率 59.8% (過去6年平均)
- 全職員に対する再就業率 12.1% (H17:実人数)
- 全職員に対する離退職率 12.9% (H17:実人数)
- 新人の早期離職率 8.6% (H16年度)
- 退職者のうち不満を理由とした者の割合 12.0% (H16年度)



(県の施策・事業)

看護師養成施設に対する支援を行い、看護教育の充実と新卒者の増員を図る。

- 施設の充実対策
 - ・養成所施設設備整備等助成
 - ・東部看護専門学校移転、看護1学科定員増
- 教育の充実対策
 - ・養成所運営費等助成

新卒者の県内就業や潜在看護師の再就業、看護職員の就業定着（離職防止）を図る。

- 確保啓発対策
 - ・看護の日記念行事、進路説明相談会など
 - ・進学ガイドブック発行
- 定着強化対策
 - ・看護職員修学資金貸与事業
- 潜在看護師復帰対策
 - ・ナースバンク事業
 - ・潜在看護師再就業支援事業
- 離職防止対策
 - ・院内保育所運営費助成など

看護教員及び実習指導者の養成や現任看護職員の資質向上を図る。

- 看護教員資質向上対策
 - ・看護教員養成講習会
 - ・看護実習指導者養成講習会

在宅医療における訪問看護の充実を図る。

- 訪問看護推進事業・ホスピスケア研修など

県内の看護師養成施設の現状

(平成18年度)

大 学	3校	3課程
短 大	2校	2課程
看護師養成所	18校	19課程
准看護師養成所	2校	2課程
合 計	25校	26課程
入学定員計	1,257人	
卒業定員計	1,145人	

潜在看護師再就業支援事業の概要

1.再就業準備講習会

従来、年4回開催していた会場型の再就業研修を年7回に拡充開催

募集人員 計150人

2.病院派遣型再就業研修

看護職員不足が顕著な病院への就業促進を目的とした派遣型の実務研修。個人単位で随時研修が可能

短期コース 1週間

熟練コース 3か月間

募集人員 短期40人、熟練10人

静岡県看護協会 平成18年度スローガン

- 地域の人びとのいのちとくらしを守るために、看護の力を結集しよう。
- 社会の期待に応えるために、看護のマンパワーを確保しよう。

平成18年度 静岡県看護協会 第49回通常総会のお知らせ

《開催日時》 平成18年6月22日(木) 9:30~16:00

《会場》 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ中ホール・大地

《平成17年度事業報告》と《決算報告》が主な議案

- 議案第1号 平成17年度事業報告書(案)
- 議案第2号 平成17年度決算報告書(案)
- 議案第3号 平成18年度補正予算書(案)

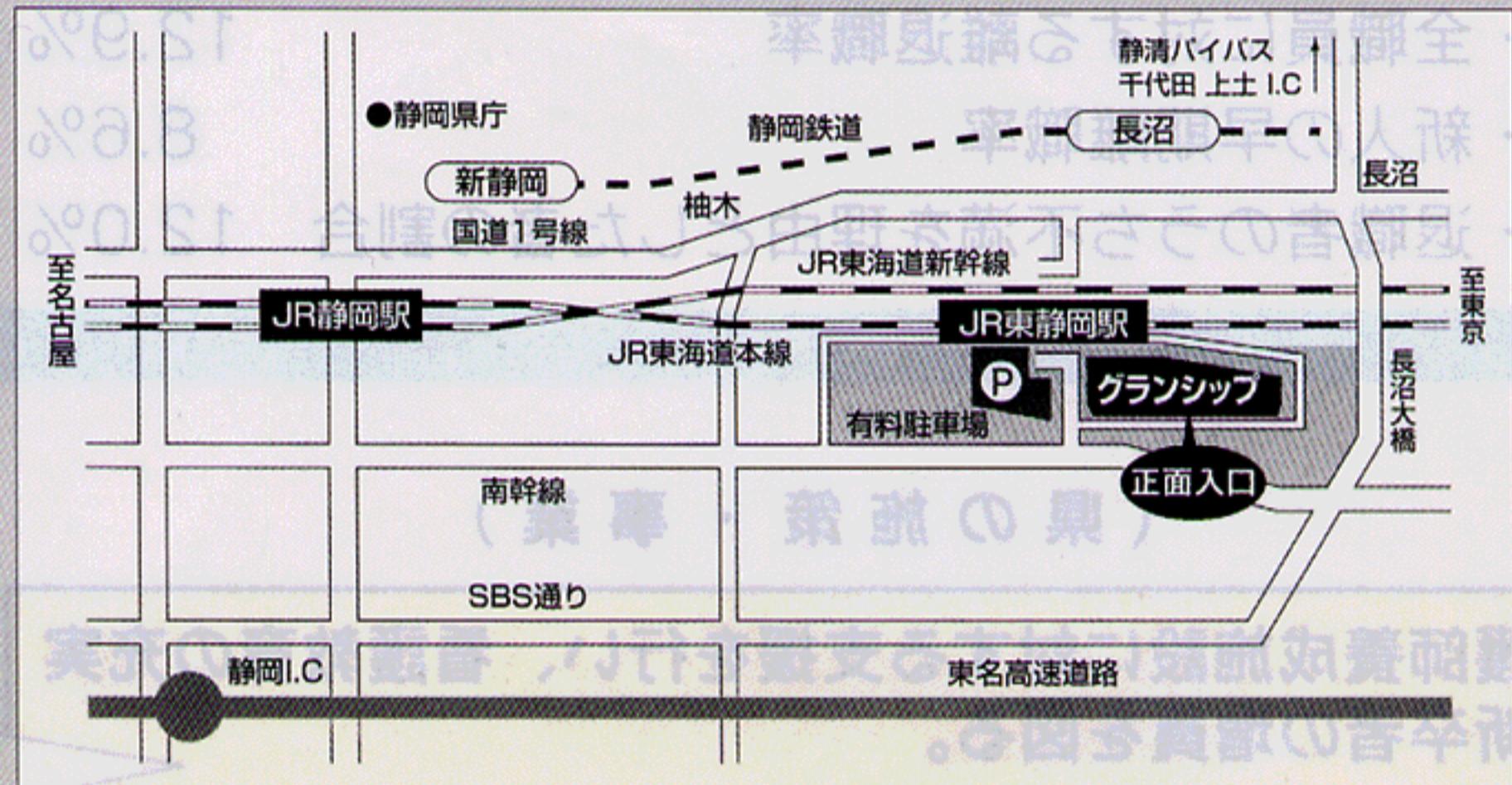
- 報告第1号 日本看護協会に関する報告
- 報告第2号 平成18年度日本看護協会通常総会報告
- 報告第3号 平成17年度第47回通常総会議事録



活性化計画1年目の成果を、会員みんなで確認しましょう。

《参加する方へ》

- 会場へのアクセス
JR東静岡駅南口に隣接、徒歩3分。
公共交通機関をご利用ください。
近隣駐車場は有料（割引料金）です。
- 受付
正面入口に入ったエントランスホール。
参加者氏名の50音別。
- その他
昼食は主催側で用意します。
委任状は当日受理できません。
詳細は、通知案内文書をご覧ください。



平成17年度

第4回理事会報告

出席者：樋葉会長・番内副会長・内藤副会長・齋藤専務理事・鈴木常務理事・村谷常務理事・宮地保健師職能理事・小田助産師職能理事・土屋看護師職能理事・白井理事・鈴木理事・前田理事・吉村理事・上島理事・豊島理事・夏目理事・小野理事・本多監事・床原事務局長・南谷氏・渥美氏・池ヶ谷氏
欠席者：岡田理事・平賀理事・畠中監事・杉山監事・守屋ナースセンター所長

日時：平成18年3月17日(金) 15:30~16:45 場所：静岡県看護協会 第1会議室

◆協議事項：静岡県看護協会細則の一部改正について

- ◆報告事項：
 - 平成17年度静岡県受託事業「訪問看護推進 医療機関の看護師研修」報告
 - 平成17年度静岡県受託事業「身体拘束ゼロ作戦推進研修会」報告
 - 平成17年度第48回通常総会報告
 - 会長の職務を代理し、又は代行する副会長の順序に関する件について資料により説明、承認された。

学識経験者理事から「身体拘束ゼロ作戦推進」に関して「現実問題として施設が拘束しなくてもいい状況になっていない。そんな制約のある中で、看護師のみに負担をかけているのは良くないと感じている。この状況を是非、外に向けて発言していくと良いと感じた」との発言があった。

平成17年度

第5回理事会報告

(書面表決)

期日：平成18年3月29日(水)

◆議

- 案：「訪問看護ステーション指定介護予防運営規程の制定について」
理事全員の賛成回答により承認された。

平成18年度静岡県ナースセンター事業概要のお知らせ

今年はとりわけ潜在看護師の就業を促進するため、従来の再就業講習会を年4回から7回程度に拡充するほか、新たにナースが研修病院を選べる〈病院派遣型再就業研修〉を行います。皆さんのご指導・ご支援をよろしくお願ひいたします。

1.ナースバンク事業

◇求職・求人登録及び就業斡旋 就業に関する相談、指導：平成17年度求人登録・求職登録及び相談を含めた取扱は25,857件でした。今年も精一杯努力します。e-ナースセンター〔インターネット〕に登録すると最新の詳しい求人情報の閲覧が可能です。求人施設の方には「人材探しのテクニック」「人材募集条件チェック」等の検索ができます。

◇移動相談：県下40箇所でナースセンター職員による出張相談を行います。あなたの街で相談登録できます。会場や開催日は「看護しづおか」及び「市町村広報」で広報します。登録時には免許番号・取得年月日が必要です。求人施設もお気軽にご参加ください。

2.再就業支援事業

◇再就業準備講習会：今年は県内7会場32施設のご協力とご支援をいただき開催します。この他伊豆地区でも開催予定です。

集中講義担当・会場	講 義 日 時	実 習 施 設			
1. 静岡県看護協会	6月 7日(水)～9日(金)				
2. 静岡厚生病院	10月 2日(月)～3日(火)・24日(火)	小鹿病院	県立こころの医療センター	こみに	訪問看護STしづおか
3. 藤枝市立総合病院	10月24日(火)～25日(水)・11月8日(水)	甲賀病院	平成記念病院	グリーヒルズ藤枝	志太訪問看護ST
4. 沼津市立病院	8月 1日(火)～2日(水)・11日(金)	NTT東日本伊豆病院	月ヶ瀬リハビリテーション病院	梅名の里	沼津中央病院
5. 富士市立中央病院	11月15日(水)～16日(木)・29日(水)	湖山病院	みゆきの苑	鷹岡病院	訪問看護STけいあい
6. 浜松赤十字病院	7月 6日(木)～7日(金)・31日(木)	すずかけ病院	神経科浜松病院	すずかけの街	訪問看護ST住吉
7. 磐田市立総合病院	10月 3日(火)～4日(水)・17日(火)	天竜すずかけ病院	みつかわ病院	エバーグリーン掛川	訪問看護STいわた

◇病院派遣型再就業研修の実施：募集人員／短期コース40人・熟練コース10人

県内各病院へ協力参加案内（人材養成室）し、現在、研修受け入れ病院及び受講希望者の申し込み受け付け中です。

3.「看護の心」普及啓発事業

◇看護に関する知識の普及啓発：看護の日記念行事は看護の日企画実行委員会（中部・静岡・志太榛原地区支部）と合同で企画し、5月13日に開催し盛況のうちに終了しました。平成19年度は西部地区で開催を予定しています。

◇ふれあい看護体験：市民のために保健・医療・福祉施設がドアを開き、見学や簡単な看護体験、関係者との交流などを行うイベントで75施設において実施します。

◇「一緒に看護を話そう！」出前授業〔地区支部との共催〕：出前授業を希望する中・高等学校等に、地区支部から講師を派遣してもらい実施します。

◇高校生1日ナース体験の実施：188病院等に協力依頼しました。実施期間：7月27日～8月24日

◇進路相談説明会：看護への道を目指す生徒に看護の資格や取得方法、資格をいかした就業場所、看護学校の特色などについての全体講義と県内各看護学校の個別説明・相談を行い、生徒の進路選択の参考にしてもらいます。

会 場	日時(13～16時)	全體講義担当校
静岡県看護協会	6月17日(土)	静岡市立清水看護専門学校
クリエート浜松	6月10日(土)	浜松市立看護専門学校
三島市立社会福祉会館	6月24日(土)	県立東部看護専門学校

会員の皆様に
お願い

皆さんの周りに、看護職の資格をお持ちの方で働きはじめたいと思っている方いませんか？看護職で働きたいけど自信がないなど迷っている方いませんか？

是非ナースセンター
をご紹介ください。



甘やかすの聖地



ふれあい network

藤枝市立総合病院



藤枝市立総合病院は、稼働ベッド数643床で急性期病院を目指しており、看護職員数は約450名です。

今回は、当院の認定看護師等の専門活動について紹介します。認定看護師7名のうち感染管理認定看護師は2名で、1名は感染対策室長として院内全部門を統括しています。各部署にリンクナースが任命されており、委員会や院内ラウンドが実施されています。



WOC看護認定看護師は、医師とストマ外来で活動している他、NST・スキンケアチームともリンクして、病棟・外来を問わず幅広く活躍しています。

このほか救急看護、重症集中ケア、ホスピスケア、手術看護の認定看護師がそれぞれの部署に配属されており、日常の看護

実践とともに教育、相談活動をしています。今年度は、新たにがん化学療法看護とWOC看護認定看護師が誕生する予定です。

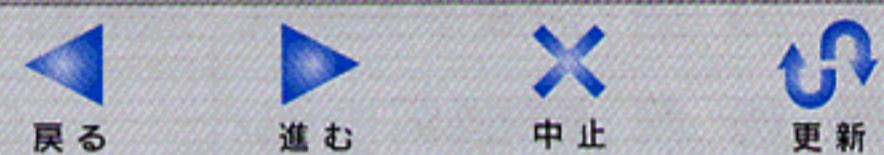


又、研修を受講した看護師が医療安全対策室長として専任業務を担っています。

このように、より専門的な知識技術と看護実践力を持った認定看護師を育成、活用することは当院の『看護サービスの質』を保証することにつながる考えます。また、安全管理・感染管理・褥瘡管理など、組織横断的に活動する人材として、看護職への新たな認識の変化をもたらす役割も担っています。

原田 光子

@社団法人静岡県看護協会



アドレス：@http://www.shizuoka-na.jp/ ▶ 移動

「看護しづおか」が生まれ変わりました

ホームページ事業拡大に伴い、今年度から「看護しづおか」も生まれ変わり、より多くの情報を提供できるようにしていきたいと思います。今後も広くみなさまのご意見をお待ちしています。

年6回の発行

奇数月の年6回発行となります。そのうち3回は増刊号として、求人情報や特集記事を掲載します。

ホームページと連動した情報提供

より多くのみなさまにホームページを活用していただけるよう、新着情報や、ホームページに関するお知らせを掲載していきます。

これまで同様に看護協会の事業や取り組みについて、わかりやすくお伝えしていきます。また、「ふれあい network」や特集記事を通して、会員のみなさまの声を発信します。今後もご協力お願いいたします。

静岡県ホームページ工事期間延長

当初4月に予定していましたホームページリニューアルですが、諸事情により遅れていますことを深くお詫び申し上げます。改造準備が整い次第みなさまにお伝え致します。



演題募集のお知らせ 静岡県看護協会看護研究発表会

平成18年12月2日(土) 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

募集期間 6/15 ~ 6/30 郵送先 静岡県看護協会 教育研修部宛